

平成18年5月18日開催

第6回 自治基本条例をつくるワークショップ会議のまとめ

テーマ「市長・議員に望むもの」

「市長」

- (1) 市長に対して感じていること
- (2) 市長はこうあるべきだ
- (3) 市長はこんなことをやろう、やるべきだ
- (4) 市長の役割は？

「議員」

- (1) 議員に対して感じていること
- (2) 議員はこうあるべきだ
- (3) 議員はこんなことをやろう、やるべきだ
- (4) 議員の役割は？

稚内市政策経営室

市長

- ・市長の存在を市民はあまり考えたことがない
- ・市長は長、会社なら社長であり、市民の声を反映させるのが市長
- ・市長・首長とは市民との生活に密着
- ・市民のビジョンを反映させる
- ・財政運営
- ・市長は、市民生活と密接な関係を持っている
- ・市長が明確なビジョンを示し、市民はそれに対して良く考えるべきだ
- ・夢を実現するためにさし示して行く(行きつ、戻りつ、市民と考える)
- ・財政が大変な中で、市民に目を向けさせるために、部課長の指導
- ・市長は厳しいリーダーとして大変だ
- ・部・課長クラスの教育が必要
- ・市民に目を向ける
- ・現実的には大変な激務を負うリーダー

市長・議員も同じ職務である
市民に不利益を与えない

議員

- ・議員活動が見えない
- ・市民は議員に興味が無い?
- ・一部の民の意見のみでは成り立たない
- ・昔は議員→市長
今は民→市長 議員は何をすべきか?
民の意識を底上げするのが議員の役割である
- ・私利私欲に走らず、市民の利益を考える
- ・市民の意見を聞き出す能力
- ・意見を正確に反映させる
- ・行政のチェック機関
- ・暴走を止めるのが議員
- ・議員自らで自らのルールを定めて守って行くべきだ
- ・一部の意見ではなく複数の意見を整理すべき
- ・会派が多い(1人会派があるのはいいのか?)
(非合理的である。論点が様々になる)
- ・どうやって組み上げているのか
- ・一部の意見を代弁している職務があって良い
- ・議員は幅広い市民の意見を聞き、市民に説明する機会をつくるべきだ
- ・市民の意見を聞き出す力がないとダメ

Bグループ

市長

理想

- ・将来的な危機を市民に示し対策を行う
- ・理想を語れる人
- ・今、稚内の置かれている現状の市民への説明
そして、これからの方向性を示す。その為に、人一倍勉強していること
- ・市長は市民が「夢」を持てる街づくりをする責務がある
(将来を見据えて)

リーダーシップ

- ・指揮棒が振れる人
- ・楽器が不足していたら用意できる人
- ・演奏人が不足していたら探して来れる人
- ・強いリーダーシップで市民をリードしていく位の力強さを求める
- ・選択を明確に
(必要性の把握)
- ・人事を公平に出来る人

政策

- ・経済政策→雇用力重要
- ・経済のわかる人
- ・空中分解で終わった市町村合併を今後の課題として、研究・検討すべきと考える
(財政とのかかわり)
- ・文化施設(文化センター)利用への促進(地域活性化)

姿勢

- ・市長は「稚内を最も愛する市民・・・」と自負できる気概を
- ・腹を切れる人
- ・しっかりとした計画に対しての責任をとること(気持をもつ)
これが今の市政には足りないし、この責任があればもっと真剣に市民に受け入れやすい提案が出ると思います。
- ・ふるさとへの愛着を示しながら、稚内らしさを演出されたい
- ・我慢出来る人

議員

チェック機能

- ・自治との関連で、チェック機能を持たせて緊張感を与える。
そして、それと一緒に、市民の方々の関心をもっと高める
- ・チェック機能の役割をしていない

- ・議員の政策が見えない
(会派問題)
- ・市提案に代表質問ではなく、全体で議論すべきである
- ・議員は「稚内発展のための政策はなにか？」を良く考え、他の事例をしっかりと勉強・実践して欲しい
- ・議員提案をして欲しい

政策

- ・議会活動の効果的な推進を図るためにも会派への整備に努めるべきだと考える
- ・自分の持っている政策、信念を持って市民にアピールする。
これが、受け入れられなければ議員になる必要もないし、議員になることが目的ならこまる

姿勢

- ・勉強していない
- ・議員は「木と森の両方を良く見る」
バランス感覚をしっかりと持つこと
- ・言葉に対しての強い責任を持つ
- ・多様な人が立候補出来る環境が必要

定数

- ・議員定数に関し、将来展望を含め、慎重に検討すべきと思う。
- ・当選回数制限(例えば、3回)
- ・定数問題、会派の見直しを自治との関連で何か出来ないか？

報酬

- ・市の事業入札に参加するな
(した場合総体売上の10%以下)
- ・本職が議員ではなく、生活は別の方が・・・

Dグループ

議員

- ・市民の意見のくみ上げが出来ていないと思う。
- ・地域の活動に参加がいない
- ・地域を代表しての議員としての自覚が欲しい
- ・市民と語る議員、町を廻る議員
- ・行政との緊張感を保つ努力
(日常的に市役所内で情報交換するなど)
- ・専門家として議員がいない
- ・市民からのアイデアを真剣に検討すること
- ・発想の転換と工夫でよいまちづくりを推進するリーダーシップを取ること
- ・地区別に市全体に均一にいるべき
- ・「地域の意見が聞ける」御用聞きではなく、市民のアイデアを吸収
- ・議会に対しての勉強をするべきだ
(議員が勉強不足)
- ・専門的な勉強をもっと欲しい
その上で実のある議論を！！
- ・市民と共に歩む議員であって欲しい
- ・住民投票や自治基本条例の存在をけむたがるのではなく、それを前提とした議員の役割・あり方を模索して欲しい
- ・会派に対する考え方を見直す必要
- ・会派にしばられて個人意見が委縮している傾向あり

市長

- 市長に対して感じていること
- ・個人の意見では動かないのでは？というイメージがある
- ・市長が自分のスタンスに基づいて、具体的にどのような活動、努力をしているのかと言う部分が見えない
(情報公開とのからみ)
- ・人口減から、財政もゆるくない事から、市議を少なくとも3人減らしては？
- ・市議をまとめる
- ・市長報酬に対して、市民からの指摘に答え地方が自分の能力を認めていると思われる
- ・「稚内市の対して誇りをもてる人がたくさん欲しい」
- ・ワッピでの発言、そのような市民の意識を高めるのが行政のリーダーシップではないか
- ・市長は自信を持って、誇れる仕事をして欲しい
- ・稚内のPRリーダーとしての役割
(観光都市としての成長)
- ・将来的なスパンを明確に！！ ・未来の稚内像を見たい
- ・市長自身が稚内と、国など市庁舎の屋上に上がって日々稚内市を見て頂きたい
- ・市民・人を育てるのが市長 ・夢のあるまちづくりを
- ・市民ともっと対話して欲しい ・まちを見て欲しい
- ・市民と顔をつき合わせて議論する場をもっと多くすること
- ・新しい宅地造成をひかえて、市内の空き地を有効に利用して下さい